

ご案内

自立援助ホーム

愛媛県今治市

みなど
湊

「自立援助ホーム 湊」は様々な社会的ハンディから、親元で生活できなかつたり自立して生活せざるを得なくなった青少年の自立を見守り、家庭的な支援をします。

そして、彼らの母港となります。

自立援助ホームは(児童福祉法第6条の3、同法第33条の6「児童自立生活援助事業」として第2種社会福祉事業として位置づけされます。

「湊」では、名称の通り青少年たちが社会という大海原に出航する前に準備をする場所です。

長い航海の中で、一人一人の船や航路は違います。

「湊」に停まった船達は、準備をした後、思い描いた目的地を目指し、船出をします。

「湊」のある桜井の地には、漆器を桜井の港から、京阪神に船で行き、桜井を母港として、人や物の交流拠点として、発展してきた歴史を紐解き、社会を担う青少年の交流拠点としていきたいという信念を持って運営します。

「湊」の立地



綱敷天満神社のお膝元。
学問の神様・菅原道真公が祀られています。「湊」に縁ある青少年には働きながらも、勉学に挑戦して社会で通用し、自身の可能性を存分に開花・表現できる様々な経験値を高められる取り組みを続けます。

白砂青松の砂浜が8kmも続き
日本の渚100選にも選ばれた
瀬戸内海屈指の桜井海岸まで
徒歩5分の場所にあり。
四季を通して「語らい」「癒し」
「鍛え」「思い出」「思索」の場として、共に歩いていきます。



「湊」の想い

日本最大の海事都市・今治では、毎年新しい船が造られ母港を持ち、それぞれの目的に応じて航海へ船出します。そして母港へ帰りまた再び航海へと・・・

「湊」も、困難な状況の青少年の母港になります。

船出した青少年を、社会の荒波で遭難しないよう灯台として見守り続けます。

否定も肯定もなく、唯一無二の個性を大切に、羅針盤を持たせてあげたいと思います。



「湊」の概要

運営法人 合同会社リスル

開所日 令和2年5月1日

建 物 木造平屋

定 員 6名

入居費用 居住費 上限30,000 収入の3割徴収/1人(電気・水道・ガス代込み)
食費 込
※収入のない入所者については免除、もしくは相談の上で決定。

施設概要 キッチン

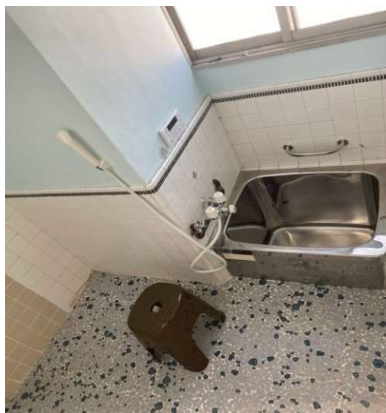


食材を大切にした、栄養バランスの良い食事と自立した後に、簡易に効果的に再現できるレシピを中心に郷土料理も織り交ぜながら提供します。

リビング



浴室



トイレ



洗面所



居室(2人部屋・・・3部屋)



部屋の鍵は内・外から施錠でき、プライバシーが守られます。3部屋とも8帖以上で、内2部屋はロフトがあり、ゆったりとした空間で過ごせます。

外観



昭和初期に建築された古民家の改修工事を行い、内部は洋風にして生活しやすくしています。どこか懐かしく、落ち着くような外観で、内装は清潔で新しい環境下で自立を目指す青少年をサポートします。

「湊」の支援

- 申し込みの流れ 基本的には対象児童側より、行政機関などを通して児童相談所に相談し入居が決定。「湊」に直接相談されて、児童相談所へ代理申請も可能です。
※体験入居は随時受け付けております。
- 就労支援 今治は、造船・タオルを中心として製造業が多く、また第1次産業も盛んな土地柄なので入居児童とよく話して、本人の個性や特性が活かされる職場を「湊」のネットワークやハローワークから探していきます。
- 就学支援 入居児童に対して、積極的に定時制や夜間大学・通信教育など勉学の機会を勧める。
- 退去後支援 近くの借家を借り上げ、退去後の住居としての支援を行う。(希望者)
退去後も入居時と変わらず、様々な悩みや、相談に対応していきます。
- 交流支援 様々なジャンルの人との関りを通して社会性を高め、好奇心の芽を伸ばす。
・海外でも活躍されている、ライアー奏者の方のミニライブの開催
・東京で中央省庁に勤務されながらライブ活動をしているアコースティックギター奏者のミニライブ。
・サッカーFC今治のボランティア活動

などなど